

『若松県第四大区全図』

若松県は明治2年から9年という短い期間存在した県で、現在の会津地方と新潟県の一部がその範囲でした。若松県では明治6年に大・小区制が定められ、4つの大区に分けられました。『若松県第四大区全図』はこの短い期間に存在した行政区「若松県第四大区」の地図となります。第四大区は耶麻郡の全部と安積郡の一部（概ね現在の郡山市湖南町）で、塩川と猪苗代に区会所が設けられていました。

資料には制作年が書かれていませんが、恐らくは若松県第四大区が存在した当時に描かれたものと思われる。当館ではほかに『福島県廳備付 若松縣第四大区全図（明治七年）抄寫』と題された地図を所蔵しており、注意書きには「福島県廳備付 若松縣第四大区全図ヨリ主トシテ渓谷并ヒニ滝名ヲ抄寫ス」とあります。この地図から写したものと思われ、『若松県第四大区全図』は福島県庁に保管されていた時期があること、明治7年に制作されたことが推測されます。

地図は鍵括弧の形をした紙に描かれており、紙面を大きな方眼に区切る縦横の黄色い直線が書かれています。ほかに緯度線や方位記号も記載されています。道路は赤線で、川は青線で描かれ、村の名前は小判型の枠内に書かれるなど江戸時代の絵図を思わせる表現方法が使われつつも、山の斜面をケバを使って表現する外国から新しく取り入れられたと思われる技法も使われています。

この度『若松県第四大区全図』をデジタル化しました。DVD-ROM 版を貸出していますので、ご自宅等で見ていただくことができます。どうぞご利用ください。



※中央が磐梯山

参考文献

『福島県政治史 上巻』 復刻版 諸根樟一／[ほか]共著 吾妻書館 1982.9

『福島県史 第4巻』 福島県 1971

『会津若松史 6 明治の会津』 会津若松市出版委員会／編 国書刊行会 1981

『地図入門』 今尾恵介／著 講談社 2015.4

（地域資料チーム 田中信乃）